

令和5年1月12日

都内私立中学高等学校

理事長 校長 殿  
校 長 頭 員  
教 員  
関 係 教 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会  
会 長 近藤 彰郎  
東京私学教育研究所長 平方 邦行  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

## 「令和5年度 研究協力学校事業」のご案内

新春の候、貴校におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標題にありますように、当研究所では令和5年度の研究協力学校を募集します。

会員校におかれましては、建学の精神に根差した独自性と未来を切り拓く先進性に富んだ、私学ならではの教育実践・研究に取り組まれていることと存じます。本制度は、そのような会員校における取り組みに対し、学校設置者負担の軽減助成をおこなうことにより、貴校教員の資質向上及び教育研究活動の充実を図り、その成果を東京私学全体へ供することで、私学教育が更なる発展を遂げることを目的としています。是非ご利用いただきますようご案内申し上げます。

### 記

- 1. 事業目的** 学校毎の教育実践・研究の向上を図るとともに、協力校は発表会等を通じて、その成果を会員校に供し、私学教育の一層の充実・発展に寄与する。
  - 2. 研究主題** 教育実践に役立つもの。なお、一教科に関する研究でも可とする。  
※他校の教育実践において応用や参考にできない主題・内容のものは対象となりません。
  - 3. 研究組織** 多数の校内教員が参加し、学校の組織として研究を行うもの。  
(教科に関する研究の場合は、原則として、当該教科全教員が研究に参加すること)
  - 4. 研究期間** ①令和5年度(1年間の研究) ②令和5・6年度(2年間の研究)  
どちらかの期間を選択すること。
  - 5. 募集校** 研究期間①：3校程度 研究期間②：3校程度
  - 6. 研究費(助成額)** 年度毎に50万円を限度に交付(2ヶ年の場合は最大100万円)  
助成対象額は総経費の1/2を限度とし、限度額を超える経費及び助成対象外の経費は、当該学校設置者の負担とする。
- ※助成対象経費 当該研究に要する①備品・図書・消耗品等の購入費(PC、タブレット端末、プロジェクター、カメラ、プリンター、アカウント使用料等は助成対象となりません) ②研究調査のための旅費交通費 ③外部指導者への報償費 ④印刷製本費 ⑤その他当協会が適当と認める経費

### 7. 研究費について

- ①研究費は、当該研究のみに使用すること。
- ②研究費は学校の収入とし、学校法人会計基準等に従い会計処理を行い経費を明確にした帳簿、証拠書類を整備して5年間保存すること。
- ③取得した備品及び図書類は、貴学校法人等の定める管理規定に基づき、

善良なる管理者の注意を持って管理すること。

(本事業は当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)

#### 8. 研究成果について

- ① 研究期間終了年度末もしくは翌年度(4~6月)に当該学校を会場として、研究成果の公開発表会を開催し、成果の周知をはかること。
- ② 原則として「東京私学教育研究所 紀要」に研究成果を掲載すること。

#### 9. 申込期限 令和5年3月3日(金)までにお申し込みください。

#### 10. 申込にあたって

同じ研究内容で他団体・機関(私学財団等)の助成を受けている場合(予定も含む)は審査の参考にしますので、その状況をご記入ください。

#### 11. 決定通知

審査の上、結果を申請者(研究代表者)あてにお知らせいたします。

#### 12. 申込方法・問合せ

所定の申込書(様式第1号)・研究計画書(様式第2号)を郵送もしくはメール添付にて、お送りください。各様式は当協会研究所HPの「研究協力学校」よりダウンロードしてください。ご不明な点等につきましては、遠慮なくお問い合わせください。

〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4階  
東京私学教育研究所 研究協力学校(担当:岡沢・佐瀬)  
TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560  
メール: okazawa@tokyoshigaku.com

東京私学教育研究所HP <https://k.tokyoshigaku.com/>



### 【参考】研究協力学校の研究内容・テーマ

- 「教科横断型授業における授業デザインと評価の在り方の考察」  
～探究学習を教科横断で実施するための方法論の開発～  
協力校：啓明学園中学校高等学校
- 「行動する知性を育む」～コンピテンシー自己評価アンケート分析～  
協力校：中央大学附属中学校高等学校
- 「21世紀型教育を推進するためのシステム開発と実践・普及のための研究」  
協力校：工学院大学附属中学校高等学校